



# 感染症は予防が第一

## —子どもに予防接種を—

指導：国立病院機構三重病院名誉院長 神谷 齊

企画：  
日本医師会

No. 239

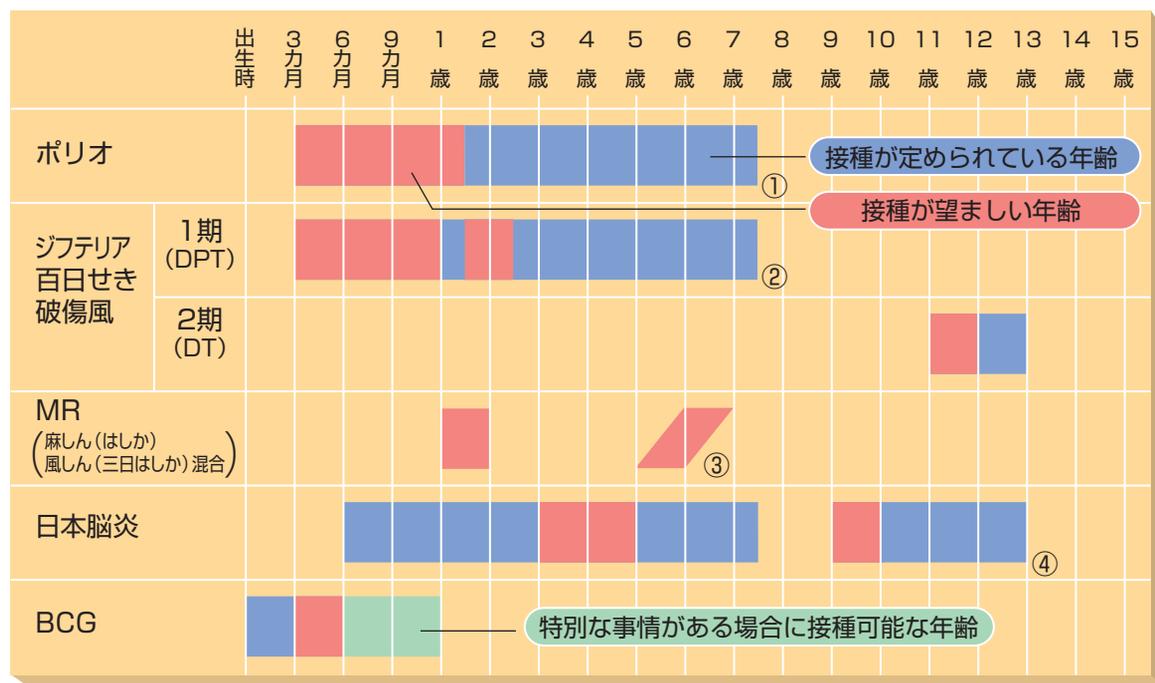
### 子どもの成長に必要な予防接種

赤ちゃんはお母さんから抵抗力(免疫)をもらって生まれてきますが、生後12カ月頃にはその力が自然に失われます。やがて保育所や幼稚園、そして小学校に行くようになると、感染症にかかる機会がずっと増えます。子ども自身がかかると同時に友だちにもうつし、感染が周囲に広がりかねません。それを防止するため予防接種で免疫を獲得することが必要なのです(表)。

### チェックして忘れずに

ワクチンは感染症の原因となるウイルスや細菌の毒素を弱めて作ったもので、接種により子ども自身に抵抗力を作らせます。定期的予防接種はかかりつけ医で受けることが基本です。ポリオやBCGは市区町村単位で集団接種をする場合があります。市区町村からのお知らせをよく読んで、正確に受けましょう。麻しん(はしか)と風しん(三日はしか)のワクチンは混合され、MRワクチンとして2回接種するようになりましたので、注意してください。

わが国の定期予防接種スケジュール(15歳まで)



- ① ポリオ：6週間以上の間隔で2回経口投与を行います。
- ② DPT：3～8週間の間隔で初回接種(3回)を行い、終了後、12月から18月までの期間に追加接種を行います(D：ジフテリア、P：百日せき、T：破傷風)。
- ③ MR：1回目の接種は、1歳になったらできるだけ早期に行いましょう。2回目の接種は小学校入学前1年間が対象になります。すでに麻しん(はしか)または風しん(三日はしか)にかかった人、一方のワクチンを接種した人はMRでなく、かかっていないほうの病気のワクチンを単独で接種します。
- ④ 日本脳炎：2005年5月30日以降、国は積極的に勧めていませんが、日本脳炎に感染する恐れが高い場合等、希望すれば定期接種として接種できます。

※「表」のポリオ～日本脳炎までは予防接種法による一類疾病予防接種、BCGは結核予防法による(まもなく予防接種法に統一の予定)。そのほかに定期接種として予防接種法二類のインフルエンザがあるが、対象年齢が65歳以上等なので本表には表示していない。



注) 財団法人予防接種リサーチセンター発行の小冊子。市区町村等で配布されています。問い合わせはお住まいの市区町村等へ

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。